

つきはき通信は 緑Shop 西田が発行しています。

つきはき

第131号

2022年5,6月

959-2021 阿賀野市中央町2-10-10



みなさん こんにちは
今年の桜も見事でしたね!!

あなたの「仟オシ」の桜はどこですか?
今度 教えて下さいね。

さて、最近、酢素玄米の炊飯器
の入気がすごいんです。

西田では珍しく「ヤフーショッピング」に
掲載しているのですが、毎日の様に「ポチッ」
「ポチッ」されています。

それだけ、健康が気になっているの
かなぁ~と感じます。

人の悩みは、健康、人間関係、お金、
家族、仕事…と様々ありますね…
その中でも、健康と経済(お金)が
役立てるのがこの酢素玄米炊飯器。



西田のマスターは
胃弱なコトもあり
あの細さなので
すが、この酢素玄
米は負担が無い

と、胃に喜んでます。

一度炊くと、食や終えるまでずっと熟成保温してくれるので、数日間 安心していられます。
白米はこうは行きませんよね…。それと酢素玄米は「おかず」が簡単です。そこも私たちが
競争力ある利点です。

時を待つ桜は
春を待つ桜の姿といえよう
静かに春を待つ桜は
一瞬の休みもなく
力を蓄えている

蓄られた力がなければ
時が来ても
成就しないで
あります
松下幸之助

この開発者のお二人は
まさに上記の桜の様な
方々です。



最初は、専用の圧力鍋と、保温ジャーで作っていたのですが、「手間がかかる」「面倒」「上手に火を付ける時」とうでない時がある」続けるのも大変…というご自身の経験から、こんなにおいしくて体

にいいのだから後世に残したい。と同時に、酢素玄米が出来る炊飯器
がどうしても欲しい!

その想いが成就して、私達も日々
おいしくいただけています。

しかも、熟成状態までも計算した
独自の炊飯技術のおかげで

最後の一粒までおいしくいただける
のです。

いたたぎます



感謝
れ。

Staffの声

お陰様で…

4月16日(土)新潟日報(朝刊)に弊店で行なったイベント「もみん展示」の中の『絵縑』展示を取り上げていたとき下越版にカラー写真入りで掲載されました。

4/8(金)(イベント初日)にさっそく日報さんの新発田総局の女性の方が取材に来てくれました。その中でとても「え?!!」という感じの質問が飛んできました。「今回の西田さんの一番の売りは何ですか?どれですか?」と想定していないかた質問があつたり、それから「会期終了しても絵縑の一部は展示しますよネ!?」と聞かれ思わず「はい!」と答えてしまったので当分は展示しておくことになりました。しかし、とにかく一番うれしかった事があります。この記事で中学時代の同級生が2人「新聞にのったのを見たので顔を見に来たぞ!!」と店に寄ってくれたのです。そのうち1人は新聞屋さん勤めていて当日の新聞を配達分とは別にプラス2部と記事の部分をパウチして来てくれました。同級生バシダイ!!

今年も4月より農家へちよことふ生伝いがはじまります。祖父母の時からふ米と花の球根もやつて下さい。キューリップ、クロッカス、アイリス、ほたるなど今は少しづつ減らして、クロッカスとふ米のみ。とももあといつまでと、80までのお仕事は、自分でやらねばれる事を自分たちの体力をみながら、休み休み精一杯。あと1~2年で農家を卒業する段取りもつけてもららしい。ふだんは体力の衰えをしゃかしたりしているけれど、2人には尊敬と感謝とご苦労さまと上から目線のようですが、伝えておきます。はすか、いくて言えな、たぬですが…。

KODO

大好きな鼓童が…先日お店に鼓童のメンバーの人々
水原自動車学校合宿の中ヨーヨー飲みに来て下さいま



じて私はとの日はすじに通じて、この会社
私が鼓童ファンであることを今さら云ふと
くだされ、合宿終了前日に来店して下さいま
のにその日は野暮用で休んだ為会えず残念。
その人の今、鼓童のメンバーだった頃の